

## 合 意 書

株式会社●●（以下「甲」という。）と●●（以下「乙」という。）は、甲乙間で締結した雇用契約（以下「本件雇用契約」という。）及び本件雇用契約に関連する紛争・トラブルについて、以下のとおり、合意する。

1. 甲と乙は、本件雇用契約を●年●月●日を乙の最終在籍日として、円満に終了することを合意する。
2. 甲は、乙に対して、●年●月●日から●年●月●日までの賃金●●円として、所得税、住民税、社会保険料、労働保険料等の法定控除分を控除した●●円の支払義務のあることを確認し、●年●月●日までに、乙の指定する銀行口座に振込方法によって支払う。振込に要する費用は甲の負担とする。
3. 甲は、乙に対して、解決金として●●円の支払義務があることを認め、●年●月●日までに以下の乙名義の口座に振り込む方法によって支払う。振込に要する費用は甲の負担とする。

●●銀行●●支店 普通預金●● 口座名義人●●

4. 乙は、甲に対し、在職中に知り得た甲の営業上、財務上、人事上、その他一切の業務上の秘密について、退職後に使用せず、第三者に開示及び漏洩しないことを約束する。
5. 乙は、甲に対して、乙が甲に対して提供した IT ツール等を一切使用しないものとし、甲の指示に従い、速やかに停止手続を行う。また、乙は、甲の指示に従い、甲が乙に対して提供した貸与物及びデータを返還又は削除する。
6. 甲及び乙は、方法の如何を問わず、本合意の内容及び本合意に至る経緯について、第三者に対して口外しないとともに、方法の如何を問わず、相手方を誹謗中傷する等相手方に対し不利益な言動をしないことを相互に約束する。
7. 乙は、甲に対して、甲の役員、従業員、取引先及び関係者に接触し、連絡しないことを約束する。
8. 甲及び乙は、本合意をもって、本件が円満に解決したことを確認し、みだりに干渉しないことを相互に約束する。

9. 乙は、甲に対するその余の請求をすべて放棄するものとする。

10. 甲及び乙は、本合意に定めるほか、何らの債権債務関係のないことを相互に確認する。

以上の合意内容を証するため、本合意書2通を作成し、各自保有する。

年 月 日

甲

乙